

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.98

【発行】千葉県テレビ伝道協力会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2  
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」  
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072  
E-mail: [chiba@life-line.tv](mailto:chiba@life-line.tv)  
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>  
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
2-1 OCCビル  
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650  
E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)  
ホームページ <http://www.pba-net.com>  
でんわ世の光 03-3291-9061

### 頑なな心と愚かなプライドをも溶かす放送伝道

四街道キリスト教会牧師 大塚育彦

「あと4年間だけ生きてみよう。」としました。

高校三年の春に自殺に失敗した時。「あと4年間だけ生きて、大学に入り、哲学を学び『人間は皆ずるく汚い。だれ一人、生きるに値する者などいない。人間なんか、皆死んでしまえ。』』という論文を書いて4年後に、自殺しようと思っていました。

素晴らしい人生を生きたいのに生きられない。何のために生きているのか分からない。どうやって生きていったらよいのかも分からなかったのです。

それは、中学2年の時でした。ある日、すべてのことが突然楽しくなくなってしまったのです。何をしても落ち着かない。何かイライラする。「こんなはずじゃない。こんなはずじゃない。」そんな思いに、いつの間にかとりつかれていたのです。それがあまりにも苦しかったので、何とかしてこの思いから抜け出したいと思い、色々なことを試してみました。「一人の殻にとじこもり考える。」「人との関係を深め友情に賭ける。」「勉強に打ち込み良い成績をとる。」「スポーツでよい成績を上げる。」「恋愛に命をかける。」「徹底的に正しく生きてみる。」「悪に徹してみる。」しかし、そのどれも私をその苦しみから救ってくれるものはありませんでした。「こんな人生、生きるに値するのだろうか。こんな汚い人間に囲まれて、こんな汚い自分が生きていて何の意味があるのか。なら、いっそ潔く死にたい。」それが高校3年の結論でした。

しかし大学に入り哲学を学び、すぐに分かったことは、「人間は何のために生きるのか。人間には分からない。哲学でも解決はない。また死も解決になる保証はない。」ということでした。右翼、左翼、幾多の宗教にも解決を求めましたが、解決は見つかりませんでした。キリスト教会にも出入りをし、早くから、その素晴らしさに気づいてはいましたが、「弱さから神にすがった。」と人に思われるのがいやで、踏み出すことは、できませんでした。そんな時、人に素直になれない私の愚かなプライドを守りつつ、かたくなな心を溶かしたのが、キリスト教放送でした。人に言われると反発し、抵抗する心も、ラジオから、テレビから流れる平安に満ちた聖書の言葉や賛美、出演者の喜びに満ちた言葉や表情や証が、私の心を素直にし、溶かし、いつの間にか熱心に聞き入っていました。そして大学四年の夏、信仰に、また献身へと導かれました。

お茶の間に福音！

毎週土曜朝7時は、**千葉テレビ「ライフ・ライン」**でお楽しみ下さい。